

令和5年度 江戸川区立松江第三中学校 学校関係者評価 最終評価報告書

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> 素直で明るい、心豊かな生徒を育てる(素直で豊かな心) 自ら進んで、よく学びよく働く生徒を育てる(学びと勤労) 責任を重んじ、正義と規律を尊ぶ生徒を育てる(責任と規律) 	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	○目指す学校像・生徒・保護者・地域・教職員が誇りに思う学校 ○目指す生徒像・実践力のある生徒、他者とのかかわりを大切に する生徒、自己と向き合える生徒 ○目指す教師像・共に子供たちの成長を願い、学び合い高め合える職場をつくり、絶えず自己の 資質・能力の向上に努める教師
前年度までの学校経営上の 成果と課題	<成果>・ここ数年のコロナ禍でも、生徒たちは落ち着いた学校生活を送り、自主的な取り組みを数多く進め、学校行事・委員会・部活動等の教育活動も充実している。あいさつや時間を守る等の基本的な生活習慣も身につけてきている。 <課題>・年度により変化はあるが平均学力は都を下回る。特に数学の下位層へのケアは直近の課題である。 ・不登校生徒は減少しているが、一定数はいる。 ・特別な支援を要する生徒への対応も進んでいる。		

教育委員会 重点課題	<取組項目>・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価 コメント	年度末に向けた 改善策	
				取組	成果			
学力の向上	<学力の向上> ・授業改善の推進、学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善 ICT(ミラインド等)を活用した学習活動の推進 放課後学習やドリルパークの活用 学習コンテストを実施 年3回 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者学校評価で肯定率90%以上 生徒・保護者学校評価で肯定率90%以上 生徒・保護者学校評価で肯定率80%以上 合格率70%以上 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 学びあいの場面の設定 発展応用課題の提示 振り返りの場面設定を常に指導案に入れるよう心掛けている。 ●学期以降に学習コンテストの実施 	B	感染防止対策を心がけ、工夫している。生徒の学習態度が落ち着いている。 生徒が安心して学習に取り組める環境、授業をめざす。
	<読書科の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実 ・学校図書館の整備・活用、地域図書館との連携や、総合的な学習の時間と連携した探求的な学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> 探求的な学習活動を通して言語活動を充実 区教育課題実践推進校として研究を計画的に進め、成果をHPにて発信。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者学校評価で肯定率90% 1学年はSDGsをテーマに調べ学習 2年生は地域調べ学習の成果全国調べ学習コンクールに出品 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> 読書科・総合の連携で、成果物を完成する取組を継続していく。HPでの発信を準備する。 ●図書館管理システムの円滑な運用と貸出冊数の増加、学習でのさらなる活用をめざす。 	B	今後も工夫して進めてほしい。 図書館利用者の向上をめざす。SDGsをテーマにした調べ学習がスタートした。
	<外国語教育の推進> ・授業力の向上とALTの効果的な活用	<ul style="list-style-type: none"> 学び合いの場面を取り入れた授業改善 	<ul style="list-style-type: none"> 全国・都の学力調査で、平均点以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> タブレット・ICT機器を活用し、ペア学習、グループ学習を効果的に取り入れている。 ●様々な側面からのアプローチを考える。 	B	生徒に学ぶ喜びを伝えてほしい。 授業改善、課題の工夫、補習等様々な側面からアプローチしていく。
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上> ・体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	<ul style="list-style-type: none"> 休み時間、授業における自主的な運動による運動意欲の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者学校評価で肯定率90%以上 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ○体育祭の演技で、運動意欲が向上している場面が見られた。家庭での自主的な運動を奨励している。 ●さらに運動意欲が向上する取組を考える。 	A	コロナ禍明けでも、充実した体育祭が実施できた。 2、3学期、学年でスポーツ大会等も企画する。
	<特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンレッシュルームの活用促進 ・副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育研修 年2回 個別指導計画の作成 学校だよりや学年だより、行事案内の送付 	<ul style="list-style-type: none"> 支援を要する生徒が通常に学校生活を送る(状況観察) 校内研修年2回 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒支援委員会を中心に対象生徒への支援・対応がより具体的に示すことができています。 ○関係諸機関とも良い連携ができています。 ●復籍交流では合唱練習の見学が行えた。 	B	生徒一人一人に丁寧に対応している。 対象生徒へのきめ細やかな対応ができるようになってきた。継続していく。
共生社会の実現 に向けた教育の 推進	<教員研修の充実> ・ICT、タブレット端末を活用した教員の授業力の向上 ・全教員一回の授業公開	<ul style="list-style-type: none"> ICT関連研修 3回 ICT活用の研究授業 2回 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者学校評価で肯定率90%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○タブレットを活用した研究授業を随時実施、成果を共有している。今後も継続していく。 	B	充実した研修ができています。 研究授業、授業検討会を自己の授業に生かすよう取り組んでいます。
	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hyper-QUの活用	<ul style="list-style-type: none"> いじめアンケートやHyperQUの有効活用 1年生全員のスクールカウンセラーとの個人面談 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ重大事態発生0 不登校生徒を全校で5%以下(17人) 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ○不登校生徒数は昨年度より減少傾向にある。 ●重大事態はゼロであるが、SNSがらみのトラブルが目立っている。 	B	大きないじめが起きないように、指導を続けたい。 いじめ件数をできる限りゼロに近づける。
子どもたちの健全 育成	<生活習慣づくり> ・生徒の自主的な生活改善への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 生活改善習慣カードの活用 松三SNSルールづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者学校評価で肯定率80% 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ●生活習慣改善に向けて、取組を継続する。特にスマホ・SNS時間の管理が課題である。 	B	保護者の方に積極的に呼びかけて改善を図ってほしい。 タブレット端末を活用し、生活習慣の改善を主に取り組ませる。TM3SNSルールを浸透させる。
	<自校(園)の取組の積極的な発信> ・学校(園)ホームページの充実等 ・学校(園)公開の実施・充実	<ul style="list-style-type: none"> 学校HPに日頃の教育活動を掲載し、保護者等が学校の様子を理解できる環境の整備 土曜公開授業 年4回 	<ul style="list-style-type: none"> HP年間アクセス数85,000以上(昨年度82,044) 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページでは日々の活動の様子を随時更新し、情報を発信している。 ○校外学習等の行事の様子はほぼリアルタイムで発信できている。 ●情報の古いものが残っていることもあった。 	B	校内の写真ニュースやホームページの活動の様子はわかりやすい。今後も続けてほしい。 ホームページのアクセス数が伸びるよう、今後も最新の情報を発信できるよう工夫していく。
地域に広く開かれた 学校(園)の 実現	<学校関係者評価の充実> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員会の開催 年2回 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評議員の肯定率95%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○7月に第1回の学校評議員会を開催することができ、貴重なご意見をいただくことができました。 	B	今後も学校の様子を伝えてほしい。 第2回学校評議員会に向け、準備を進めていく。
	<小中連携教育の推進> ・「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	<ul style="list-style-type: none"> 小中合同教員研修 2回 小中連携行事 4回 	<ul style="list-style-type: none"> 学区域児童の選択希望率90%以上 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○1学期に合同教員研修を行った。情報の共有は都度行っている。今後も継続する。 	B	近隣小学校と良い連携ができていますので、このまま情報交換を密にし、新入生を受け入れる準備を進めてほしい。
特色ある教育の 展開	<GIGAスクール構想> ・GIGAスクール構想に基づく「生徒が安心して夢中になって学ぶ授業の創造」 一人1台の学習タブレット端末の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 授業内外の活用の工夫(ドリルパークの活用) 生徒とのコミュニケーションツールとして活用 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒・保護者学校評価で肯定率90%以上 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度以上に、タブレットが教科の授業・総合的な学習・生活等さまざまな場面で活用されている。今後も工夫を続ける。 	A	学習タブレットを今後も有効に活用してほしい。 ICT関連の研修を行い、タブレットの有効活用をさらに構築していく。